

第7回世界シニアバドミントン大会に参加して

千葉県 谷藤 千香 (本連盟常任理事)



2015年9月20日～26日、スウェーデンのヘルシンボリアリーナで開催された第7回世界シニアバドミントン大会に参加させていただきました。

世界シニアバドミントン大会は、BWFの主催大会で、2003年に第1回大会がブルガリアで開催され、以降約2年に1回開催されています。35歳から5歳刻みで年齢区分されており、基本的には全5種目32枠、エントリーが多い場合は予選を、少ない場合にはグループリークを行い、エントリーが6人(組)以下の場合にはその種目は開催されず、下の年齢枠でのエントリーとなります。シングルス、ダブルス、混合ダブルスの3種目にエントリーすることができますが、各国からの参加者数制限があり、シングルス・ダブルスともに最大4枠となっています。日本バドミントン協会によって示された参加条件である過去2年間の全日本シニアでベスト8以内に入賞したものに該当はしていませんでしたが、千葉県バドミントン協会の推薦を頂き、エントリーさせていただきました。大会参加費は1種目US \$120、2種目以上US \$150、さらに協会より参加が原則とされたツアー代金は43万円、もちろん全額自己負担です。申し込み後、ユニフォームの案内を頂き、BWFの規定に基づき「氏名」「JAPAN」背面プリント入り競技ウェアを購入しました。大会における着衣の背面、広告、ロゴなどの表示については非常に厳格で、前回大会時には認められていた大きさの文字が規定改正により認められなくなっており試合直前に着替えることになったり、国内では日本バドミントン協会の検定で認められている着衣やサポーター等もメーカーのロゴなどが問題になり、マジックで塗ったり裏返しに着用したりなど、慌てる場面も多く見られました。これまで国内に留まっていたシニア選手が国際大会にプレイの場を広げていくにあたっては、こうした情報もきちんと得ていかなければと感じました。

試合は、大会初日の開会式直後の第1試合という貴重な経験をさせて頂き、日本選手団の熱い応援をたくさん受けました。残念ながら35XDは初戦敗退となりましたが、夕方に行われた45WDは勝利し、初日を終えることができました。大会2日目、45WSで初戦突破したものの途中で脚を痛めるというアクシデントがありました。ルールを確認すると45WSを棄権する他種目すべて棄権になるということで、会場内にあったトレーナーサポートを受けつつのプレイとなりました。サポートチームはストックホルムから来ているということで非常に適切な対応をして頂き、シングルスは3回戦で敗退したものの、45WDで3位入賞を果たすことができました。35歳から70歳まで8つのカテゴリーそれぞれに5種目、計40種目ありますが、表彰式はそれぞれ盛り上がり、素晴らしい雰囲気の中で入賞の喜びを味わわせて頂きました。

7日間に渡る大会は連日朝から夜遅くまで試合が続き、宿泊したホテルとアリーナは徒歩圏内と比較的近く、また日本選手68名いつも誰かが試合をしている状況であったこともあり、期間

中は毎日会場に通いました。参加者の多くは過去にもこの大会に参加しており、大会を通じて海外の友人を持つ者も多くいて、会場のあちこちで再会を喜び合う姿が見られました。また、最終日に行われたパーティでは、次回大会での再会を約束しました。

BWFのホームページによると次回大会は、2017年9月10日～17日にインドのコチで開催されます。今後の世界シニア大会でさらに多くの方々とご一緒させて頂き、また違ったバドミントンの楽しさを味わうことができれば嬉しく思います。最後になりましたが、大会参加においてお世話になった方々、ご一緒させて頂いた教職員連盟の方々、ありがとうございました。



入賞者 右端が筆者



会場外観



会場内部